一般演題（ポスター発表）

10月2日㈫　発表：奇数（11：50～12：30）・偶数（13：30～14：10）　ポスター会場

YAP：発表賞対象講演

評価者：柏倉 幾郎（弘前大学）、児玉 靖司（大阪府立大学）、大西 健（茨城県立医療大学）、榎本 敦（東京大学）、冨田 雅典（電力中央研究所）、志村 勉（国立保健医療科学院）、飯塚 大輔（広島大学）、片岡 隆浩（岡山大学）

YAP-01　ラドン吸入によるマウス腎障害の抑制効果における抗酸化機能の関与の検討

○恵谷 玲央[1)]、片岡 隆浩[1)]、西山 祐一[1,2)]、迫田 晃弘[3)]、神崎 訓枝[1)]、田中 裕史[3)]、石森 有[3)]、光延 文裕[4)]、田口 勇仁[1)]、山岡 聖典[1)]
1）岡山大学大学院保健学研究科、2）岡山大学自然生命科学研究支援センター、
3）日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センター、4）岡山大学病院三朝医療センター

YAP-02　電離放射線曝露マウス骨髄有核細胞における *Myc* 遺伝子発現の解析

○西山 彩香、辻口 貴清、山口 平、村上 翔、柏倉 幾郎
弘前大学大学院保健学研究科

YAP-03　放射線誘発ラット乳癌における遺伝子変異の解析

○ショウラー 恵[1,2)]、西村 まゆみ[2)]、臺野 和広[2)]、今岡 達彦[2)]、福士 政広[1)]、島田 義也[2)]
1）首都大 放射線、2）放医研 防護セ 発達期

YAP-04　カロリー制限による放射線誘発胸腺リンパ腫と肺がんの抑制メカニズムの解明

○中山 貴文[1,2)]、尚 奕[3)]、砂押 正章[1,2)]、甘崎 佳子[2)]、臺野 和広[2)]、小川 佳那依[2)]、島田 義也[2,3)]、立花 章[1)]、柿沼 志津子[1,2,3)]
1）茨城大学 理学部、2）放射線医学総合研究所放射線防護研究センター発達期被ばく影響研究プログラム、
3）放射線医学総合研究所福島復興支援本部長期低線量被ばく影響プロジェクト

YAP-05　福島第一原子力発電所事故による一般家屋住民の外部被ばく線量低減に関する基礎的検討

○穂積 若菜[1)]、細田 正洋[2)]、赤田 尚史[3)]、遠藤 明[4)]、岩岡 和輝[5)]、床次 眞司[5)]
1）弘前大学医学部保健学科、2）弘前大学大学院保健学研究科、3）核融合科学研究所、4）弘前大学農学生命科学部、
5）弘前大学被ばく医療総合研究所

YAP-06　粒子線による DNA 二本鎖切断と修復機構

○真鍋 絵梨[1)]、Gerelchuluun Ariungerel[1)]、石川 隆昭[2)]、鈴木 健之[1)]、Asaithamby Aroumagame[3)]、David J Chen[3)]、坪井 康次[1)]
1）筑波大学人間総合科学研究科、2）筑波大学医学群医学類、3）テキサス大学、放射線腫瘍学

YAP-07　DNA 複製阻害による損傷への DNA 二本鎖切断修復タンパク質の役割

○小原 麻希[1)]、阿部 紘子[2)]、田中 彩[2)]、井坂 早央里[2)]、戸松 静香[2)]、鵜澤 玲子[1)]、平山 亮一[1)]、高田 穣[3)]、立花 章[2)]、田内 広[2)]
1）放医研 重粒子医科学セ、2）茨城大 理 生物科学、3）京大 放生研セ

YAP-08　ゲノムの特定部位に配置させたクラスター DNA 損傷の数的遺伝毒性影響

○佐々 彰、鴨下 渚、兼丸 祐紀、本間 正充、安井 学
国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部

YAP-09　休止期がん細胞内の抗酸化物質が放射線抵抗性に及ぼす影響の解析

○伊東 一也[1)]、孫 略[1)]、石川 隆昭[2)]、盛武 敬[3)]、坪井 康次[4)]
1）筑波大学 人間総合科学研究科、2）筑波大学 医学群、3）産業医科大学 産業生態科学研究所、4）筑波大学 医学医療系

YAP-10　致死線量放射線ばく露マウスに対する c-Mpl 作動薬の作用

○山口 平[1)]、廣内 篤久[2)]、石川 純也[3)]、辻口 貴清[1)]、西山 彩香[1)]、村上 翔[1)]、小村 潤一郎[2)]、柏倉 幾郎[1)]
1）弘前大院 保 医療生命科学、2）環境科学技術研究所 生物影響研究部、3）大分県立看護科学大学 人間科学講座

YAP-11 致死線量放射線ばく露マウスへの国内承認医薬品の投与効果

○横山 昂生[1)]、山口 平[1)]、廣内 篤久[2)]、石川 純也[1,3)]、西山 彩香[1)]、村上 翔[1)]、柏倉 幾郎[1)]
1）弘前大学大学院保健学研究科、2）環境科学技術研究所生物影響研究部、3）大分県立看護大学人間科学講座環境保健学研究室

YAP-12 放射線照射後に生じる組織レドックス状態の経時変化
―MR レドックスイメージングによる画像解析―

○中村 美月[1,2)]、柴田 さやか[3)]、尾澤 芳和[3)]、上野 恵美[2)]、松本 謙一郎[2)]、山田 健一[4,5)]、鎌田 正[1,2)]、青木 伊知男[3)]
1）千葉大学大学院 医学薬学府、2）放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター、
3）放射線医学総合研究所 分子イメージングセンター、4）九州大学大学院 薬学研究院、5）科学技術振興機構 さきがけ

YAP-13 低 LET 放射線によるヒドロキシルラジカルの生成密度の測定

○小川 幸大[1,2)]、松本 謙一郎[2)]、藤崎 真吾[1)]
1）東邦大院理生物分子科学、2）放医研レドックス応答制御研究チーム

YAP-14 Analysis of dicentric chromosomes induced by CT examination

○Yu Abe[1,2)], Risa Ujiie[1,2)], Yumiko Kurosu[1,2)], Atsushi Katafuchi[1,2)], Naohiro Tsuyama[1,2)], Takashi Ohba[1,3)], Fumio Shishido[1,4)], Hideyoshi Noji[1,5)], Kazuei Ogawa[1,5)], Kenya Kanazawa[1,6)], Hiroshi Yokouchi[1,6)], Takashi Ishida[1,6)], Jun Ohsugi[1,7)], Hiroyuki Suzuki[1,7)], Mitsuaki Yoshida[8)], Kenji Kamiya[1,9)], Akira Sakai[1,2)]
1）Fukushima Medical University School of Medicine, 2）Dept. of Radiation Life Sciences,
3）Dept. of Radiation Health Management, 4）Dept. of Radiology, 5）Dept. of Cardiology & Hematology,
6）Dept. of Pulmonary Medicine, 7）Dept. of Regenerative Surgery, 8）Dept. of Rad Bio Inst of Rad Emer Med, Hirosaki University, 9）Dept. of Exp Oncol, RIRBM, Hiroshima University

YAP-15 X 線マイクロビーム照射・非照射細胞の細胞分裂のライブセルイメージング

○神長 輝一[1)]、成田 あゆみ[1)]、嘉成 由紀子[1,2)]、坂本 由佳[1,2)]、宇佐美 徳子[3)]、小林 克己[3)]、野口 実穂[1)]、横谷 明徳[1,2)]
1）日本原子力研究開発機構 先端基礎研究センター、2）茨城大学大学院理工学研究科、3）高エネルギー加速器研究機構

YAP-16 DNA 二本鎖切断の修復と細胞周期制御の放射線応答モデルの構築

○服部 佑哉[1)]、横谷 明徳[1,2)]、渡辺 立子[1)]
1）日本原子力研究開発機構放射線影響解析研究グループ、2）日本原子力研究開発機構放射場生体分子科学研究グループ

YAP-17 異なる細胞周期相で照射された細胞の G2 arrest 動態とその放射線感受性への影響

○戒田 篤志[1)]、土田 絵梨[1,2)]、小湊 広美[1)]、三浦 雅彦[1)]
1）東京医科歯科大 大学院医歯学総合研究科 口腔放射線腫瘍学分野、
2）東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 顎顔面外科学分野

YAP-18 Establishment and radio-biological characterization of immortal mouse neural stem cell lines

○Tomoya Nakahama, Hiroki Kashiwagi, Kazunori Shiraishi, Seiji Kodama
Lab. Radiat. Biol. Dept. Biol. Sci. Grad. Sch. Sci. Osaka Pref. Univ.

P1：マイクロビーム・紫外線・放射光・高 LET

P-001 細胞周期選択的に照射した動物培養細胞のリアルタイム観察

○成田 あゆみ[1)]、神長 輝一[1,2)]、横谷 明徳[1)]、野口 実穂[1)]、小林 克己[3)]、宇佐美 徳子[3)]、藤井 健太郎[1)]
1）原子力機構 先端基礎、2）茨城大院 理工、3）高エネ研 PF

P-002 スフェロイドに対する X 線マイクロビームを用いたバイスタンダー効果の研究

○坂本 由佳[1,2)]、横谷 明徳[1,2)]
1）茨城大院 理工 理 生物、2）日本原子力研究開発機構 先端基礎研究センター 放射場生体分子科学研究グループ

P-003 集束式重イオンマイクロビームを用いた細胞への高速走査照射技術の開発

○舟山 知夫、横田 裕一郎、坂下 哲哉、鈴木 芳代、小林 泰彦
日本原子力研究開発機構・マイクロビーム細胞照射研究グループ

P-004 バイスタンダー細胞における突然変異の抑制のメカニズムの解析

○前田 宗利[1)]、松本 英樹[2)]、宇佐美 徳子[3)]、小林 克己[3)]、冨田 雅典[4)]
1）若狭湾エネルギー研究センター 研究開発部 粒子線医療研究グループ、2）福井大学 高エネルギー医学研究センター、
3）高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 放射光科学研究施設、
4）電力中央研究所 原子力技術研究所 放射線安全研究センター

P-005 低線量紫外線照射が遺伝子発現プロファイルに与える影響

○松田 外志朗[1)]、竹内 聖二[2)]、小野 竜輔[2)]、錦織 千佳子[2)]
1）近畿大学 原子力研究所、2）神戸大学大学院医学研究科内科系講座皮膚科学

P-006 DDB2-dependent HBO1 recruitment is required for efficient repair of UV-induced cyclobutane pyrimidine dimmer

○Hiroyuki Niida, Ryoichi Matsunuma, Masatoshi Kitagawa
Mol. Biol., Hamamatsu Univ. Sch. Med.

P-007 A 群色素性乾皮症患者細胞における低線量紫外線照射時の網羅的遺伝子発現解析

○竹内 聖二[1)]、松田 外志朗[2)]、小野 竜輔[1)]、錦織 千佳子[1)]
1）神戸大院・医・皮膚科、2）近畿大学・原子力研究所

P-008 重粒子線誘発マウス適応応答の機構研究（予備的研究）

○田中 薫[1)]、王 冰[1)]、二宮 康晴[1)]、丸山 耕一[1)]、ヴァレス ギョーム[1)]、藤田 和子[1)]、笠井 清美[2)]、根井 充[1)]
1）放医研 放射線防護研究センター、2）放医研 人材育成センター

P-009 重粒子線の分割照射回数と舌粘膜組織の変化

○鵜澤 玲子[1)]、安藤 興一[2)]、平山 亮一[1)]、白井 敏之[1)]
1）放医研 重粒子、2）群馬大学 重粒子

P-010 High linear energy transfer sensitization of MPM cells by mitotic catastrophe pathway

○Cuihua Liu[1)], Narongchai Autsavapromporn[2)]
1）Research center for radiation protection. Nirs,
2）Department of Radiology, Faculty of Medicine, Chiang Mai University

P-011 ヒト正常皮膚細胞における炭素線照射による生物学的効果の LET 依存性の解析

○溝端 健亮[1)]、吉田 由香里[1)]、松村 彰彦[1)]、磯野 真由[1)]、八高 知子[1)]、安藤 興一[1)]、舟山 知夫[2)]、大野 達也[1)]、中野 隆史[1)]、金井 達明[1)]
1）群馬大学重粒子線医学研究センター、2）日本原子力研究開発機構マイクロビーム細胞照射研究グループ

P-012 軟 X 線照射ピリミジン塩基の不対電子収量の置換基による影響

○岡 壽崇[1,2)]、横谷 明徳[3)]、藤井 健太郎[3)]
1）東北大学 高度教養教育・学生支援機構、2）東北大学大学院 理学研究科 化学専攻、
3）日本原子力研究開発機構 先端基礎研究センター

P-013 内殻イオン化による水和デオキシリボースの分解初期物理過程

○藤井 健太郎[1)]、泉 雄大[1)]、成田 あゆみ[1)]、横谷 明徳[1)]、マリーアンハーベ ペンホート[2)]、クリスナ グース[2)]、ロドルフ ブレモア[3)]、マリーピエール ガイゴー[4)]、マリーフランソア ポリティス[4)]
1）原子力機構 先端基礎、2）マリーキュリー大、3）マリーキュリー大、4）パリ エソンヌ大

P-014 ヒト眼部由来細胞におけるミリ波（60GHz）による DNA 切断およびストレスタンパク質への影響

○小山 眞[1)]、成田 英二郎[1)]、清水 陽子[1)]、椎名 健雄[2)]、鈴木 敬久[2)]、多氣 昌生[2)]、宮越 順二[1)]
1）京都大学 生存圏研究所 生存圏開発創成研究系、2）首都大学東京大学院 理工学研究科 電気電子工学専攻

P2：DNA 損傷・修復

P-015 ホウ素中性子捕捉療法に用いる中性子線の分割照射が細胞生存率と DNA 二重鎖切断誘発に及ぼす影響

○横溝 夏弥、木梨 友子、高橋 千太郎、小野 公二、田中 浩基
京都大院 農 放射線管理

P-016 Analysis of DNA Damage Induced by Aldehyde Compounds

○Ming-Zhang Xie, Mahmoud Shoulkamy, Shunya Ohba, Toshiaki Nakano, Hiroshi Ide
Dept. Math. Life Sci., Grad. Sch. Sci., Hiroshima Univ.

P-017 Detection of DNA-Protein Cross-Link Damage by Fluorescence Labeling

○Amir Salem[1)], Toshiaki Nakano[1)], Shun Hattori[1)], Ryouichi Hirayama[2)], Akiko Uzawa[2)], Yoshiya Furusawa [2)], Hiroshi Ide[1)]
1）Dept. Math. Life Sci., Grad. Sch. Sci., Hiroshima Univ., 2）Res. Ctr. Charged Particle Ther., NIRS

P-018 ヒト SIRT1の活性化は放射線誘発の修復不能な DSB を増幅する

○日高 征幸、野田 朝男、児玉 喜明
（財）放射線影響研究所遺伝学部

P-019 放射線のターゲットとしての染色体の構造変化シミュレーション

○大内 則幸
原子力機構 基礎工センター 放射線影響解析

P-020 新規モノクローナル抗体を用いた酸化的 DNA 損傷サイクロプリンの定量測定と可視化

○森 俊雄[1)]、岩本 顕聡[1)]、小林 信彦[2)]、杉浦 重樹[3)]
1）奈良医大 RI、2）奈良医大 皮膚、3）奈良医大 DNA

P-021 DNA-PK 複合体サブユニット欠損細胞における修復系

○井原 誠[1)]、小林 純也[2)]、栗政 明弘[3)]、小松 賢志[2)]、工藤 崇[1)]
1）長崎大学 原爆後障害医療研究所 原研放射、2）京都大学・放生研・ゲノム動態、3）鳥取大学・医・機能再生医科学

P-022 水中放電プラズマによる大腸菌殺菌への DNA 酸化損傷の寄与

○工藤 健一[1)]、伊藤 博徳[2)]、猪原 哲[2)]、寺東 宏明[1)]
1）佐賀大学総合分析実験センター遺伝子化学研究室、2）佐賀大学大学院 工学系研究科

P-023 次世代シーケンサーを用いた放射線誘発変異解析

○金井 昭教[1)]、長町 安希子[2)]、河合 秀彦[3)]、松井 啓隆[1)]、稲葉 俊哉[1)]
1）広島大学 原医研 がん分子病態研究分野、2）広島大学 原医研 附属放射線先端医学実験施設、
3）広島大学 原医研 放射線細胞応答研究分野

P-024 X 線照射細胞中におけるリン酸化ヒストンの２次構造変化

○山本 悟史[1,2)]、泉 雄大[2)]、藤井 健太郎[2)]、横谷 明徳[1,2)]
1）茨城大学 理 生物化学コース、2）日本原子力研究開発機構・ 先端基礎研究センター

P-025 老化細胞における DNA 二重鎖切断修復能力低下の機能解明

○丸山 里奈、中村 麻子
茨城大学大学院 理工学研究科

P-026 アフラトキシン B1 誘発 DNA 損傷修復における NBS1の役割

○周 慧[1,2)]、斎藤 裕一朗[1)]、オリベイラ ドグラス[1)]、小林 純也[1)]、秋山（張） 秋梅[2)]、小松 賢志[1)]
1）京都大学 放射線生物研究センター、2）京都大学 理学研究科 生物科学専攻 環境応答遺伝子科学研究室

P-027 RAD18 mediates DNA damage signaling to activate G2/M checkpoint for maintaining genome integrity after ionizing radiation exposure

○Yanbin Xu[1)], Megumi Sasatani[1)], Hidehiko Kawai[2)], Lili Cao[1)], Daisuke Iizuka[1)], Kenji Kamiya[1)]
1）Dept. Exp. Oncol., Res. Inst. Radiat. Biol. Med., Hiroshima Univ.,
2）Dept. Mol. Radiobiol., Res. Inst. Radiat. Biol. Med., Hiroshima Univ.

P-028 Cs-137 γ線およびβ線による微視的線量分布と DNA 損傷のシミュレーション

○渡辺 立子[1)]、甲斐 健師[1)]、横谷 明徳[2)]
1）原子力機構放射線影響解析研究グループ、2）原子力機構 放射場生体分子科学研究グループ

P-029 Chromatin Compaction Protects Genomic DNA from Radiation Damage

○Toshiaki Mori, Kazuhiro Maeshima, Yuko Yoshikawa
1）Radiat. Res. Cnt. Grad. Sch. Engin., Osaka Pref.. Univ., 2）Dep. Genetics Grad. Univ. Adv. Studies,
3）Res. Organization Sci. & Engin. Ritsumei. Univ.

P-030 FRET を用いた放射線 DNA 損傷の局在性評価　―線質による相違―

○赤松 憲、鹿園 直哉
原子力機構 量子ビーム 照射細胞解析研究グループ

P-031 ユビキチン化を介した DNA-PKcs 活性化機構

○逆井 良[1)]、松井 理[1)]、砂谷 優美[1)]、橋本 光正[2)]、岩淵 邦芳[1)]
1）金沢医大 生化学 I、2）金沢医大 物理

P-032 変異原性試験用細菌を用いた放射線、マイクロ波の生物影響評価の試み

○田中 良晴
大阪府立大院工量子放射線

P-033 Targeting DNA Ligase IV C-Terminus for Radiosensitization

○Sichengt Liu[1)], Rujira Wanotayan[1)], Mukesh Kumar Sharma[1, 2)], Yoshihisa Matsumoto[1)]
1）Research Laboratory for Nuclear Reactors, Tokyo Institute of Technology,
2）Department of Zoology, R.L.S. Govt.（P.G.）College, India

P-034 酸化ストレス誘発突然変異と消化管がんの解析

○大野 みずき[1)]、鷹野 典子[1)]、佐々木 史子[1)]、橋詰 拓弥[1)]、李 贊[1)]、田口 健一[2)]、中別府 雄作[3, 4)]、
中津 可道[1)]、續 輝久[1)]
1）九州大学・医学研究院・基礎放射線医学分野、2）九州がんセンター・病理診断科、3）九大・生医研・脳機能制御学分野、
4）九大・ヌクレオチドプール研究センター

P-035 Piperlongumine による DNA 二本鎖切断の誘発と相同組み換えの抑制

○岡本 紗季[1)]、別所 忠昌[2)]、笹沼 博之[3)]、武田 俊一[3)]、増永 慎一郎[1)]、田野 恵三[1)]
1）京都大学 原子炉 生命科学、2）Eppley Inst. , Univ. of Nebraska Med. Ctr、3）京都大学・医・放射線遺伝

P-036 DNA polymerase β knockout マウス胎児線維芽細胞における
AP endonuclease knockdown によるメチル化剤感受性の影響

○山本 亮平、梅津 万記大、山本 瑞希、松山 聡、久保 喜平
大府大院 生命環境科学 獣医放射線学

P-037 Methylpurine DNA glycosylase とその関連タンパク量は細胞の増殖状態および
DNA polymerase β の有無に影響される

○山本 瑞希[1)]、山本 亮平[1)]、竹中 重雄[2)]、松山 聡[1)]、久保 喜平[1)]
1）大阪府立大学大学院生命環境科学研究科獣医学専攻獣医放射線学教室、
2）大阪府立大学大学院生命環境科学研究科獣医学専攻細胞分子生物学教室

P-038 Involvement of recombination repair proteins in 11q23 chromosome translocation

○Jiying Sun[1)], Aiko Kinomura[1)], Hidekazu Suzuki[1)], Tsuyoshi Ikura[2)], Satoshi Tashiro[1)]
1）Dept. of Cell. Biol., RIRBM, Hiroshima Univ., 2）RBC, Kyoto Univ.

P-039 TALENs によるメダカにおける TLS ポリメラーゼ遺伝子群変異体の網羅的作製

○藤川 芳宏[1)]、藤原（石川）智子[1)]、佐久間 哲史[2)]、山本 卓[2)]、藤堂 剛[1)]
1）阪大院 医 放射線基礎医学、2）広大院 理 分子遺伝学

P-040 胎盤組織における DNA 損傷結合タンパク質の網羅的解析と種差解析への展開

○高萩 真彦
独立行政法人 放射線医学総合研究所 福島復興支援 環境動態・影響

P-041 Phosphorylation on a checkpoint protein Rad9 contributes to genome stability

○Kanji Furuya, Mika Gunji, Yoshiharu Shiroiwa, Takeshi Wakida
RBC, Kyoto Univ.

P-042 ヒト分裂期チェックポイント欠損症における PLK1-KIF2A 経路の亢進による繊毛病発症機構

○宮本 達雄、細羽 康介、落合 博、松浦 伸也
広島大 原医研 放射線ゲノム疾患

P-043 CRISPR/Cas9システムによるメダカ光回復酵素遺伝子変異体の樹立

○藤原（石川） 智子、藤川 芳宏、藤堂 剛
大阪大学大学院医学系研究科放射線基礎医学

P3：低線量・低線量率・発がん

P-044 メダカ生殖細胞における放射線誘発遺伝的不安定性の解析

○藤原（石川） 智子[1)]、音在 信治[1,2)]、尾田 正二[3)]、三谷 啓志[3)]、猪原 秀典[2)]、藤堂 剛[1)]
1）大阪大学大学院医学系研究科放射線基礎医学、2）大阪大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学、
3）東京大学大学院新領域創成科学研究科先端生命科学専攻

P-045 *Pig-a* 遺伝子突然変異解析によるトリチウムの生体影響評価

○馬田 敏幸[1)]、阿部 利明[1)]、藤田 智子[2)]、大津山 彰[2)]
1）産業医大 RI 研究センター、2）産業医大 医学部 放射線衛生学

P-046 ヒト正常線維芽細胞において一酸化窒素ラジカルが媒介する
バイスタンダー細胞致死効果は線質に依存しない

○横田 裕一郎[1)]、舟山 知夫[1)]、池田 裕子[1,2)]、坂下 哲哉[1)]、鈴木 芳代[1)]、小林 泰彦[1)]
1）原子力機構 マイクロビーム、2）群馬大院 医

P-047 異なる線量率下での腸管幹細胞への DNA 損傷と幹細胞ターンオーバー動態の評価

○大塚 健介[1)]、冨田 雅典[1)]、山内 基弘[2)]、鈴木 啓司[3)]、岩崎 利泰[1)]
1）電中研 原技研 放射線安全研究セ、2）長崎大 先導生命科研支セ アイソトープ、3）長崎大院 原研 放射線災害医療

P-048 放射線適応応答における DNA ligase III と IV の関与

○湯田 愛弥、吉井 沙耶香、立花 章
茨城大学理学部

P-049 M-FISH 法を用いた染色体異常解析どの程度の低線量率まで検出できるか

○香田 淳[1)]、豊川 拓応[2)]、海野 智之[2)]
1）（公財）環境科学技術研究所 生物影響、2）東北ニュークリア（株）

P-050 γ線照射環境での線量率依存的な老化様細胞増殖停止は ATM/TP53/P21 経路依存的である

○曹 麗麗[1)]、河合 秀彦[2)]、笹谷 めぐみ[1)]、飯塚 大輔[1)]、稲葉 俊哉[3)]、神谷 研二[1)]、鈴木 文男[2)]
1）広島大 原医研 分子発がん制御、2）広島大 原医研 放射線細胞応答、3）広島大 原医研 がん分子病態

P-051 ラドン含有の吸入と飲泉によるマウス１型糖尿病の抑制効果の比較検討

○片岡 隆浩[1)]、西山 祐一[1,2)]、迫田 晃弘[3)]、恵谷 玲央[1)]、神崎 訓枝[1)]、田中 裕史[3)]、石森 有[3)]、
光延 文裕[4)]、山岡 聖典[1)]
1）岡山大学大学院保健学研究科、2）岡山大学自然生命科学研究支援センター、
3）日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センター、4）岡山大学病院三朝医療センター

P-052 ラドン吸入による抗酸化機能の亢進が一過性脳虚血に伴うスナネズミ細胞障害に及ぼす効果

○片岡 隆浩、恵谷 玲央、神崎 訓枝、中田 哲也、田口 勇仁、山岡 聖典
岡山大学大学院保健学研究科

P-053 オリゴマイクロアレイ CGH 法による
低線量率ガンマ線長期連続照射オス親マウス由来仔マウスに生じた変異頻度の解析

○小倉 啓司[1)]、原田 千尋[2)]、藤川 勝義[1)]、田中 イグナシャ[1)]、一戸 一晃[1)]、小村 潤一郎[1)]、田中 聡[1)]
1)（公財）環境科学技術研究所 生物影響研究部、2）株式会社ジェー・エー・シー

P-054 低線量内部被ばく影響に対する分子生物学的アプローチ

○桂 真理[1)]、仲峰 宏政[1)]、天笠 翔太[1)]、垰 和之[1)]、曽根 秀子[2)]、宮川 清[3)]、和田 洋一郎[1)]、秋光 信佳[1)]、石崎 梓[4)]
1）東京大学 アイソトープ総合センター、2）国立環境研究所、3）東大院 医 疾患生命工学セ 放射線分子、4）原子力機構

P-055 低線量率放射線長期被ばく下での放射線抵抗性獲得に関する考察

○根井 充、王 冰、VARES Guillaume
放医研 防護研 C

P-056 放射線発がん線量率効果係数の再検討

○田ノ岡 宏
元国立がんセ 放射線研

P-057 低線量率低線量ガンマ線照射 B6C3F1 メスマウスの体重増加

○中村 慎吾、田中 聡、ブラガー田中 イグナシア
（公財）環境研 生物影響

P-058 細胞内分子ネットワーク数理モデルを用いた細胞生存率の放射線量・線量率依存性の解析

○吉成 耕平[1)]、田中 成典[1)]、蛯名 邦禎[2)]
1）神戸大院 システム情報学 計算科学、2）神戸大院 人間発達環境学 人間環境学

P-059 放射線と化学発がん物質による複合影響　～分割照射と一括照射では違いがあるのか？

○甘崎 佳子[1)]、坂入 しのぶ[1)]、尚 奕[2)]、鶴岡 千鶴[1)]、谷 修祐[1)]、島田 義也[1,2)]、柿沼 志津子[1,2)]
1）放医研 防護セ 発達期、2）放医研 福島 長期低線

P-060 原爆被爆者肺腺がんにおける ALK 融合遺伝子の解析

○多賀 正尊[1)]、濱谷 清裕[1)]、伊藤 玲子[1)]、三角 宗近[2)]、楠 洋一郎[1)]
1）放射線影響研究所 放射線生物学 / 分子疫学部、2）放射線影響研究所 統計部

P-061 低線量率放射線連続照射マウスに対する NAC 投与による
悪性リンパ腫発生の抑制と寿命の延長

○山内 一己
公益財団法人 環境科学技術研究所 生物影響研究部

P-062 *Mlh1* ヘテロ欠損マウスにおける大腸癌作製の試み

○森岡 孝満[1,2)]、砂押 正章[2)]、上西 睦美[2)]、鶴岡 千鶴[2)]、西村 まゆみ[1,2)]、鬼頭 靖司[3)]、吉見 直己[4)]、島田 義也[1,2)]、柿沼 志津子[1,2)]
1）放医研 福島復興支援本部 長期低線量被ばく影響プロジェクト、
2）放医研 放射線防護センター 発達期被ばく影響研究プログラム、
3）放医研 研究基盤センター 生物研究推進課、4）琉球大学 医 腫瘍病理学

P-063 BCR-ABL トランスジェニックマウスを用いた放射線発がんの分子機構解明

○笹谷 めぐみ[1)]、徐 衍賓[1)]、本田 浩章[2)]、飯塚 大輔[1)]、神谷 研二[1)]
1）広島大 原医研 分子発がん制御、2）広島大 原医研 疾患モデル解析

P-064 炭素線で誘発させたマウス胸腺リンパ腫の仔マウスにおける染色体異常の特徴

○吉田 光明[1)]、中田 章史[2)]、藤嶋 洋平[3)]、高橋 千佳[4)]、外舘 茜[4)]、有吉 健太郎[1)]、柿沼 志津子[5)]、島田 義也[5)]
1）弘前大 被ばく医療総合研究所、2）北海道薬大 薬 基礎薬学、3）弘前大 保健学研究科、4）弘前大 医 保健学、
5）放医研 放射線防護 発達期被ばく

P-065 中性子線胸部照射ラットにおける肺腫瘍誘発の照射時年齢依存性と生物学的効果比について

○山田 裕[1)]、森岡 孝満[1,2)]、高田 真志[3)]、須田 充[4)]、萩原 拓也[4)]、西村 まゆみ[1,2)]、柿沼 志津子[1,2)]、島田 義也[1,2)]
1）放医研 福島復興 長期低線量被ばく、2）放医研 防護研究セ 発達期被ばく、3）防衛大 応用科学 応用物理、
4）放医研 研究基盤セ 放射線発生

P-066 Absence of radiation induced genomic instability in hematopoietic stem cells of infant mouse

○Kentaro Ariyoshi[1)], Mayumi Shinagawa[2)], Kyoko Kadono[2)], Shizuko Kakinuma[2)], Mayumi Nishimura[2)], Yoshiya Shimada[2)]
1）Dept. Radiat. Biol. Inst. of Radiat. Emerg. Med., Hirosaki Univ.,
2）Radiobiol. for Children's Health Program, Res. Center for Radiat. Protection, NIRS.

P-067 低線量放射線の長期被曝がマウス大腸化学発がんに及ぼす影響

○谷中 昭典[1)]、武藤 倫弘[2)]
1）筑波大学 医学医療系 日立社会連携教育研究センター、2）国立がん研究センター研究所 がん予防研究分野

P-068 放射線照射したマウスの末梢血リンパ球におけるバイスタンダー効果の誘導

○小嶋 光明、竹下 亜希子、甲斐 倫明
大分看科大 環境保健学

P4：突然変異・染色体異常

P-069 p53-GFP ノックインマウス作製の試み

○関原 和正[1)]、佐久間 哲史[2)]、山本 卓[2)]、野田 朝男[1)]
1）放影研・遺伝学部、2）広大・院・理学研究科

P-070 In vivo 突然変異検出系作製の試み IV

○野田 朝男[1)]、末盛 博文[2)]、平井 裕子[1)]、濱崎 幹也[1)]、児玉 喜明[1)]、三谷 啓志[3)]、Landes Reid D.[1,4)]、中村 典[1)]
1）（公財）放射線影響研究所 遺伝、2）京大 再生研 幹細胞研究部門、3）東大 新領域、4）（公財）放射線影響研究所 統計

P-071 クラスター DNA 損傷による変異誘発における DNA ポリメラーゼの関与

○鹿園 直哉、赤松 憲
原子力機構 量子ビーム

P-072 *p53* 遺伝子欠損マウス細胞での突然変異解析実験条件の検討

○高須賀 貴優、立花 章
茨城大学大学院理工学研究科

P-073 ヒト正常線維芽細胞における放射線照射後の細胞老化と DNA 損傷の解析

○石川 純也[1,2)]、安藤 美佳[1)]、日名子 詩穂里[1)]、森 麻紀子[1)]、小嶋 光明[1)]、甲斐 倫明[1)]
1）大分県立看護科学大学人間科学講座環境保健学研究室、
2）弘前大学大学院保健学研究科医療生命科学領域放射線生命科学分野

P-074 ミスマッチ修復欠損マウスにおける酸化ストレス誘発突然変異の解析

○橋詰 拓弥、續 輝久、中津 可道、大野 みずき、鷹野 典子、佐々木 史子
九大 院医 基礎放射線医学

P-075 Ascorbic acid reduced mutagenicity against Boron Neutron Capture Reaction

○Yuko Kinashi, Sentaro Takahashi, Koji Ono
Research Reactor Institute Kyoto Univ.

P-076 放射線誘発 APRT 欠損突然変異の塩基配列解析の試み

○立花 章[1)]、大賀 千鈴[1)]、三浦 佑子[1)]、早田 真理子[1)]、野澤 千裕[1)]、佐藤 佳菜子[1)]、江刺 達也[1)]、越 浩一[1)]、山内 一己[2)]、柿沼 志津子[2)]、島田 義也[2)]
1）茨城大 理、2）放射線医学総合研究所

P-077 培地移動放射線バイスタンダー効果における長寿命ラジカル発現と p53 機能

○熊谷 純[1)]、加藤 邦幸[2)]、菓子野 元郎[3)]
1）名大 エコトピア科学研、2）名大院工、3）大分大医

P-078 マウス胎仔被ばくにより脾臓リンパ球や甲状腺に生じる染色体異常頻度と被ばく時期との関係

○濱崎 幹也、野田 朝男、中村 典、児玉 喜明
公益財団法人 放射線影響研究所 遺伝学部

P-079 FISH 法による身体拘束ストレスの放射線感受性修飾作用に関する解析

○勝部 孝則[1)]、田中 薫[1)]、王 冰[1)]、二宮 康晴[1)]、ヴァレス ギョーム[1)]、劉 強[2)]、森田 明典[3)]、中島 徹夫[1)]、根井 充[1)]
1）放医研 リスク低減化 P、2）中国医学科学院 放射医学研究所、3）徳島大院 ヘルスバイオサイエンス

P-080 新しい低価格分裂細胞自動検出装置の開発

○古川 章
放医研 緊急被ばく 線量評価

P-081 ヒト末梢血 ex vivo 部分照射モデルにおける Cell-cycle Progression Index の有用性評価

○三浦 富智[1)]、阿部 悠[1,2)]、中田 章史[3)]、葛西 宏介[1)]、吉田 光明[4)]
1）弘前大 保健学研究科、2）福島県立医大 医放射線生命科学、3）北海道薬大 薬 基礎薬学、
4）弘前大 被ばく医療総合研究所 放射線生物学部門

P5：放射線治療・防護剤・増感剤

P-082 癌細胞の放射線耐性における DNA-PK の寄与

○安彦 亮、漆原 佑介、常 小紅、桑原 義和、鈴木 正敏、福本 学
東北大学 加齢医学研究所 病態臓器構築研究分野

P-083 癌細胞のバイスタンダー効果を介した放射線抵抗性獲得機構

○菓子野 元郎[1)]、小橋川 新子[2)]、森 宣[2)]
1）大分大 医 先端分子、2）大分大 医 放射線

P-084 臨床的放射線耐性とドセタキセル交叉耐性の機構解析、ミトコンドリア関与の検討

○鷲尾 亮太、桑原 義和、高橋 慎太郎、福本 基、漆原 祐介、鈴木 正敏、福本 学
東北大学 加齢医学研究所

P-085 放射線誘発遅発性活性酸素種は細胞死を引き起こすか？

○小橋川 新子[1)]、菓子野 元郎[2)]、森 宣[1)]
1）大分大学 医 放射線医学講座、2）大分大学 医 先端分子イメージングセンター

P-086 Comparison of the effect of X-ray, carbon ion beam and proton beam on metastatic potential.

○Kazumasa Minami[1)], Kana Nakatani[1)], Hiromasa Imaizumi[1)], Mika Okazaki[1)], Katsutoshi Sato[2)], Masahiko Koizumi[1)]
1）Osaka University Graduate School of Medicine, 2）National Institute of Radiological Sciences

P-087 強度変調放射線治療による患者に対する２次中性子線量の影響について

○羽根田 清文
広国大 保 診療放射線

P-088 安定化 FGF1 による放射線脱毛の治療効果について

○中山 文明[1)]、梅田 禎子[1)]、安田 武嗣[2)]、今村 亨[3,4)]、今井 高志[1)]
1）放医研、重粒子医科学、先端粒子線生物、2）放医研、被ばく医療、3）産総研、バイオメディカル、シグナル分子、
4）東京工科大、応用生物

P-089 タモキシフェン類縁体リダイフェンの放射線防護効果と細胞毒性の検討

○秦 佑輔[1)]、森田 明典[1)]、横川 裕子[1)]、植竹 祥子[2)]、水澤 彰人[2)]、中田 健也[3)]、椎名 勇[2)]
1）徳島大 医 放射線基礎科学、2）東京理大 理、3）島根大 総合理工

P-090 タモキシフェン類縁体リダイフェンの細胞死抑制効果の検討

○横川 裕子[1)]、森田 明典[1)]、秦 佑輔[1)]、植竹 祥子[2)]、水澤 彰人[2)]、中田 健也[3)]、椎名 勇[2)]
1）徳島大 医 放射線基礎科学、2）東京理科大 理、3）島根大 総合理工

P-091 8- キノリノール誘導体 AS-2 の p53 依存性アポトーシス抑制機構

○浅沼 哲雄[1)]、森田 明典[1)]、小野田 貴祥[1)]、有安 真也[2)]、王 冰[3)]、澤 晶子[4)]、田中 薫[3)]、高橋 一平[5)]、根井 充[3)]、稲葉 俊哉[5)]、青木 伸[2,4)]
1）徳島大 医 放射線基礎科学、2）東理大 がん医療基盤科学技術センター、3）放医研 積極的防護研究センター、
4）東理大 薬 生命創薬科学、5）広島大 原医研

P-092 水素ガス吸入によるラット放射線皮膚障害の防護効果の検討

○渡邉 定弘[1)]、藤田 真敬[2,3)]、石原 雅之[4)]、川内 利夫[1)]、立花 正一[2)]、加地 辰美[1)]
1）防衛医科大学校放射線科、2）防衛医科大学校防衛医学研究センター異常環境衛生研究部門、
3）航空自衛隊航空医学実験隊第２部、4）防衛医科大学校防衛医学研究センター医療工学研究部門

P-093 新規放射線防護剤候補化合物の活性評価

○小野田 貴祥[1)]、森田 明典[1)]、浅沼 哲雄[1)]、有安 真也[2)]、澤 晶子[3)]、王 冰[4)]、田中 薫[4)]、根井 充[4)]、青木 伸[4)]
1）徳島大学・医・放射線基礎科学、2）東京理科大学・がん医療基盤科学技術研究センター、
3）東京理科大学・薬・生命創薬科学、4）放射線医学総合研究所・積極的防護研究チーム

P-094 放射線の直接作用による細胞致死も酸素によって増感される

○平山 亮一[1)]、松本 孔貴[2)]、鵜澤 玲子[1)]、小原 麻希[1)]、野口 実穂[3)]、伊藤 敦[4)]、岡安 隆一[5)]、白井 敏之[1)]、古澤 佳也[6)]
1）放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター 次世代重粒子治療研究プログラム、
2）筑波大学 医学医療系 臨床医学域 放射線腫瘍科、3）日本原子力研究開発機構 先端基礎研究センター、
4）東海大学 工学部、5）放射線医学総合研究所 放射線防護研究センター リスク低減化研究プログラム、
6）放射線医学総合研究所 研究基盤センター 研究基盤技術部

P-095 RI 内用療法における細胞外 ATP 放出と癌の放射線抵抗性誘導への関与

○大島 康宏[1)]、月本 光俊[2)]、対馬 義人[3)]、石岡 典子[1)]
1）原子力機構 量子ビーム RI 医療、2）東京理大院 薬 放射線生命科学、3）群大院 医 放射線診断核医学

P-096 日本酒の継続的摂取が放射線影響に与える修飾効果について

○中島 徹夫、ヴァレス ギョーム、王 冰、根井 充
放射線医学総合研究所 放射線防護研究センター リスク低減化研究プログラム

P-097 Obesity-related Modulation of Radiation Responses in the Mouse Liver: he Role of miRNAs

○Guillaume Vares, Tetsuo Nakajima, Bing Wang, Hiroko Ishii, Mitsuru Nenoi
NIRS, Research Center for Radiation Protection

P-098 がんおよび正常細胞株に対する陽子線の生物学的効果の比較

○河井 晴恵[1)]、永山 伸一[1)]、山下 真弓[1)]、前田 拓也[2)]、出水 祐介[2)]、有村 健[1)]、荻野 尚[1)]、不破 信和[2)]、菱川 良夫[1)]
1）メディポリスがん粒子線治療研究センター、2）兵庫県立粒子線医療センター

P-099 陽子線および X 線照射における遺伝子発現への影響の比較検討

○山下 真弓[1)]、永山 伸一[1)]、河井 晴恵[1)]、前田 拓也[2)]、出水 祐介[2)]、水野 晋一[3)]、荻野 尚[1)]、菱川 良夫[1)]
1）メディポリスがん粒子線治療研究センター、2）兵庫県立粒子線医療センター、3）九州大学先端医療イノベーションセンター

P5：組織障害・被ばく影響

P-100 胎児期放射線被ばくマウスにおいて誘発される行動異常

○藤原 有基[1)]、巽 純子[1,2)]、北村 蘭菜[2)]、阿江 大樹[2)]、野口 沙世子[2)]、高山 理恵[2)]、松井 晋平[1)]、川崎 祐也[3)]、河井 一明[3)]、藤川 和男[1,2)]
1）近畿大学大学院総合理工学 理学専攻、2）近畿大学 理工学部生命科学科、
3）産業医科大学 産業生態科学研究所 職業性腫瘍学

P-101 I-131内服がん治療患者の生体内 cytotoxic response の評価

○門前 暁[1)]、真里谷 靖[1)]、千葉 満[1)]、細川 洋一郎[1)]、丸山 敦史[2)]、高井 良尋[2)]
1）弘前大学大学院保健学研究科、2）弘前大学大学院医学研究科

P-102 長崎原爆被爆者病理標本における放射線による DNA 損傷応答の評価

○七條 和子[1)]、松山 睦美[1)]、高辻 俊宏[2)]、福本 学[3)]、松田 勝也[1)]、三浦 史郎[4)]、関根 一郎[5)]、中島 正洋[1)]
1）長崎大学 原研病理、2）長崎大学環境科学部、3）東北大学大加齢研究所、4）長崎大学大学原研試料室、
5）長崎赤十字センター

P-103 放射線の乳がん骨転におよぼす影響

○澤尻 昌彦[1)]、Srimawong Preeyaporn[1)]、丸山 耕一[2)]、寺東 宏明[3)]、谷本 啓二[1)]
1）広島大学大学院医歯薬保健学研究院、2）放射線医学総合研究所福島復興支援本部環境動態・影響プロジェクト、
3）佐賀大学総合分析実験センター

P-104 東電福島第1原発周辺地域で捕獲した野生ネズミの被ばく線量評価

○久保田 善久[1)]、高橋 博路[1)]、渡辺 嘉人[1)]、府馬 正一[1)]、久保田 正秀[2)]、青木 正成[2)]、古畑 芳晶[2)]、重村 勇作[3)]、山田 文雄[4)]、吉田 聡[1)]
1）放医研 福島復興支援本部 環境動態・影響プロジェクト、2）（一財）自然環境研究センター、3）日本エヌ・ユー・エス（株）、
4）森林総合研究所

P-105 福島原発事故後の放射線に対するアンケート調査　―2011年と2013年を比較して

○岡﨑 龍史[1)]、大津山 彰[2)]、阿部 利明[3)]、久保 達彦[4)]、盛武 敬[1)]、香崎 正宙[1)]
1）産業医大 産業生態科学研究所 放射線健康医学、2）産業医科大学医学部放射線衛生学講座、
3）産業医科大学アイソトープ研究センター、4）産業医科大学医学部公衆衛生学講座

P-106 旧警戒区域内で2011年に採材された被災動物の被ばく線量推定

○林 剛平[1)]、遠藤 暁[2)]、沢野 伸浩[3)]、木野 康志[1)]、今中 哲二[4)]、福本 学[1)]
1）東北大、2）広島大、3）金沢星稜大、4）京大炉

P-107 末梢血 CD4T 細胞 T 細胞受容体 V βレパトアへの放射線影響のメタボリック状態による修飾

○吉田 健吾[1)]、山岡 美佳[1)]、久保 美子[1)]、京泉 誠之[1)]、梶村 順子[1)]、胡 軼群[1)]、林 奉権[1)]、大石 和佳[2)]、楠 洋一郎[1)]
1）放射線影響研究所 放射線生物学 / 分子疫学部、2）放射線影響研究所 臨床研究部

P-108 Effects from Total Body X-Irradiation and Psychological Stress on the Hematopoietic System in Mice

○Bing Wang[1)], Kaoru Tanaka[1)], Takanori Katsube[1)], Yasuharu Ninomiya[1)], Guillaume Vares[1)], Qiang Liu[2)], Akinori Morita[3)], Tetsuo Nakajima[1)], Mitsuru Nenoi[1)]
1）NIRS, 2）Chinese Academy of Medical Sciences & Peking Union Medical College, China,
3）The University of Tokushima Graduate School

P-109 放射線誘発筋管形成阻害における遺伝子発現変化

○櫻井 智徳、三浦 沙也佳
岐阜医療科学大 保健科学 放射線技術学

P-110 ウラン投与による腎尿細管の長期影響解析

○鈴木 享子[1,2)]、武田 志乃[1)]、小久保 年章[3)]、早尾 辰雄[3)]、寺田 靖子[4)]、鶴岡 千鶴[1)]、臺野 和広[1)]、柿沼 志津子[1)]、島田 義也[1)]
1）放射線医学総合研究所 発達期被ばく影響研究プログラム、2）東京大学大学院 農学生命科学研究科、
3）放射線医学総合研究所 研究基盤センター、4）高輝度光科学研究センター

P-111 Cytokinesis-block micronucleus assay を用いた被ばく線量評価における最適化の検討

○中村 歩美[1)]、門前 暁[1)]、高杉 勇輝[1)]、ウォイチェック アンドレイ[2)]、真里谷 靖[1)]
1）弘前大学大学院保健学研究科、2）ストックホルム大学放射線防護研究センター

P-112 ウラン腎毒性の特性と低減化の検討

○武田 志乃[1)]、鈴木 享子[1,2)]、瀧山 和志[3)]、内川 拓也[3)]、小久保 年章[4)]、早尾 辰雄[4)]、寺田 靖子[5)]、島田 義也[1)]
1）放射線医学総合研究所 発達期被ばく影響プログラム、2）東京大学大学院 農学生命科学研究科、
3）クロレラ工業株式会社、4）放射線医学総合研究所 生物研究推進課、5）高輝度光科学研究センター

P-113 福島原発警戒区域内に飼育されていたブタの消化管における遺伝子発現の変化

○森本 素子[1)]、小林 仁[1)]、桑原 義和[2)]、木野 康志[2)]、阿部 靖之[3)]、関根 勉[2)]、福田 智一[2)]、磯貝 恵美子[2)]、福本 学[2)]
1）宮城大学、2）東北大学、3）帯広畜産大学

P-114 Effects of Ionizing Radiation on the Early Development of Sea Urchin

○Mahmoud Shoulkamy[1)], Amir Salem[1)], Naoaki Sakamoto[1)], Takashi Yamamoto[1)], Shuji Takahashi[2)], Emiko Oguri[3)], Hironori Deguchi[3)], Hiroshi Ide[1)]
1）Dept. Math. Life Sci., Grad. Sch. Sci., Hiroshima Univ., 2）Inst. Amphib. Sci., Grad. Sch. Sci., Hiroshima Univ.,
3）Dept. Biol. Sci., Grad. Sch. Sci., Hiroshima Univ.

P-115 リン酸肥料工場における作業者の被ばく線量評価

○岩岡 和輝[1,2)]、矢島 千秋[2)]、田部 裕章[2)]、エンリケス エリザ[3)]、ガルシア テオフィロ[3)]、細田 正洋[1)]、床次 眞司[1)]、米原 英典[2)]
1）弘前大学、2）放射線医学総合研究所、3）フィリピン原子力研究所

P-116 インド・ケララ州における経口摂取による内部被ばくの線量評価

○大森 康孝[1)]、床次 眞司[2)]、細田 正洋[3)]、Sahoo S. K.[4)]、秋葉 澄伯[5)]、反町 篤行[1)]、石川 徹夫[1)]、岩岡 和輝[2)]、工藤 ひろみ[3)]、Nair R. R.[6)]、Jayalekshmi P.[7)]
1）福島医大 医 放射線物理化学、2）弘前大 被ばく医研、3）弘前大院 保、4）放医研、5）鹿児島大院 医歯学、
6）Regional Cancer Center、7）Natural Background Radiation Cancer Registry

P-117 福島第一原子力発電所由来の放射性セシウムによる野生きのこの汚染状況

○坂本 文徳、香西 直文、椎名 和弘、田中 健之、大貫 敏彦
原子力機構 先端基礎研究センター

P-118 歯を用いた野生サルの外部被曝量の測定 ―ESR 法を用いた検討―

○高橋 温[1)]、岡 壽崇[2,4)]、木野 康志[2)]、鈴木 敏彦[1)]、清水 良央[1)]、千葉 美麗[1)]、福田 智一[3)]、磯貝 恵美子[3)]、関根 勉[4)]、漆原 佑介[5)]、福本 学[5)]、篠田 壽[1)]
1）東北大学大学院歯学研究科、2）東北大学大学院理学研究科、3）東北大学大学院農学研究科、
4）東北大学高度教養教育・学生支援機構、5）東北大学加齢医学研究所

P-119 東電福島第１原発周辺地域の森林樹木における放射能汚染の影響

○渡辺 嘉人[1)]、市河 三英[2)]、久保田 善久[1)]、府馬 正一[1)]、丸山 耕一[1)]、久保田 正秀[2)]、吉田 聡[1)]
1）放医研 福島復興支援本部 環境動態・影響プロジェクト、2）（一財）自然環境研究センター

P-120 日常生活における個人線量計の評価

○森本 芳美[1)]、清堂 峰明[2)]
1）県立広島病院 放射線治療科、2）県立安芸津病院 放射線科